

# 特集 検査室を支える企業力 2023

中部公衆医学研究所 × アズサイエンス

## 一括発注で検診車導入の負担が軽減

### ニーズに合った機器導入が可能に



長野県で地域(住民)健診や職域(企業)健診を手がける中部公衆医学研究所(長野県飯田市)は、2022年に婦人科検診車をアズサイエンス(長野県松本市)から一括発注により導入した。通常、検診車を導入する場合に必要な車両(架装)メーカーや医療機器メーカーとの個別交渉を同社が一括して請け負うことで、購入サイドにとっては負担が軽減できるメリットを生んでいる。補助金申請中の胃胸部検診車もそうした利点を活用しつつ調達計画を進めている。

同研究所は、1956年に設立された中部日本公衆保健協会を前身とする公益法人。設立当初は寄生虫予防や住民健診を中心とした事業を行っていたが、80年代以降は企業健診事業の比重が大きくなっており、省略項目健診を含めた定期健康診断受診者数は2万4175人(2021年度実績)、生活習慣病予防健診受診者は2万8127人(同)に上る。企業健診は県内事業所を受託対象とし、同市をはじめとした南信地域を中心に事業を展開している。

「限られた短時間での検討において、仕様や納入価格の交渉から製作、納車までのスケジュール管理をやってもらえるのは業務軽減につながる」。健診業務を統括している健診事業部の松村知英部長は、一括発注のメリットをそう話す。検診車の導入に当たっては、車両(架装)メーカーや医療機器メーカーとの交渉だけでなく車両の仕様などについても、購入側が主導する必要がある。通常業務に加え、関係する企業との調整や交渉には多くの手間と時間がかかるため、導入時の負担軽減は解決すべき課題だった。そうしたなか、2011年に検診車の



2019年導入の胸部検診車

新規導入計画が決定した際、アズサイエンスから一括発注の提案があった。同社とは元々、臨床検査分析機器の購入などでつながりがあり、同研究所のニーズをよく知っている点などを考慮。一括発注であれば、事務作業や個別交渉の時間を削減できると判断し、同社からの提案を受けた。松村氏は、それまでは「われわれが直接、車両や医療機器のメーカーと個別に交渉するしかないと考えており、メーカーの選定、交渉から関わってもらえるのはメリットだった」と振り返る。11年以降に購入した検診車10台のうち、新製車両で導入した6台全てが同社への一括発注という。

### 検診車の導入ノウハウを活用

一括発注は、同社が持つ最新の製品情報や各医療機器メーカー、車両(架装)メーカーとの強い取引関係を活用することにより、選択の自由度が上げられるのもメリット。現在補助金申請中の胃胸部検診車は、通常は同一



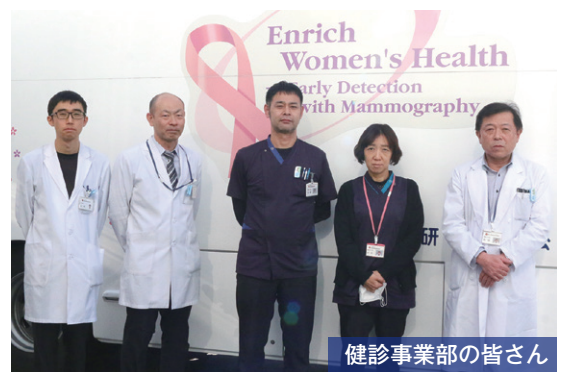
森山氏(左)と松村氏(右)

医療機器メーカーでそろえる胃部エックス線と胸部エックス線の撮影装置を、それぞれ別の医療機器メーカーから調達し、車載することにした。異なる医療機器メーカーの機器を搭載する車両の導入は同研究所では初めてだ。個別で車両や医療機器のメーカーに交渉したり、車両製作スケジュールを調整したりする一般的な取引形態では、複数の医療機器メーカーとの交渉を行うのは事実上難しく、同社のノウハウが活用された。

また過去の事例として新型コロナウイルスの感染拡大を発端とした世界的な半導体不足を背景に、ベースとなる車両の確保も課題だったが、同社と取引関係にある車両(架装)メーカーは複数あり、納期を優先した車両確保もスムーズに進んだ。補助金を活用する検診車導入では、補助金申請から納車までのスケジュールに制約もあるが、同社の提案を受けたことで順調に手続きが進んでいる。

### 高精度な健診サービスの体制整備

2020年から続く新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行拡大は、健診の実施体制にも大きな影響を与え、住民健診はコロナ禍以前に比べて3割程度減少した。企業健診は実施時期の調整などで大きな減少は避けられているが、受診者ごとの



健診事業部の皆さん

感染対策などが必要になったことで、健診終了までの時間が延び、健診業務の効率性は低下している。

政府はCOVID-19の感染症法上の位置付けを見直すことを決めており、健診事業にも影響があるとみられる。同研究所の森山剛専務理事は、日本総合健診医学会や日本人間ドック学会などがまとめている「新型コロナウイルス感染症対策」に合わせた取り組みを進めるとし、「健診を担当する職員は当面、マスクを着けて受診者を受け入れることになるのではないかとみている」。

同研究所は業務拡大を踏まえ、2年後をめどに飯田市内での移転を計画している。森山氏は「移転を機にこれまで手がけていなかった各種内視鏡検査を行うなどで、より精度の高い健診サービスを移動健診とともに提供したい」と話す。検診車導入をサポートするアズサイエンスのノウハウが、健診事業の充実につながり、地域企業の従業員や住民の疾病の早期発見を支えている。



Life and Technologies...

私たちアズサイエンスは、  
医療機器・医療材料・臨床検査薬・医薬品・科学機器・産業機器販売を通して  
地域社会の健康増進と産業の発展に寄与することを目的としています。

### 主要営業品目

医薬品 医療材料 医療機器 病院設備 臨床検査薬  
検査システム 画像関連機器 ネットビジネス フィールドサービス

ライフサイエンス関連試薬・機器 環境計測機器・分析装置  
自動化・省エネ関連機器 理化学機器・消耗品  
試験研究用試薬工業薬品・資材 工業計測器 真空装置 光学機器  
設備全般 試験器 測定器

**Az** アズサイエンス株式会社  
SCIENCE AZ Science Co., Ltd.

<https://azscience.jp/>



Azfine <https://azfine.jp/> 販売中!

かゆいところに手が届くファインなアイテムたち

松本本社：長野県松本市村井町西2-3-35 Tel 0263-58-0021  
東京本社：東京都江東区石島2-14 lmasRiverside 2F Tel 03-5843-8155

東京・西東京・横浜・埼玉・千葉・宇都宮・高崎・つくば・水戸・仙台・山形  
秋田・新潟・長野・松本・甲府・大阪・名古屋・金沢・静岡・御殿場・小田原

